

2015年度 活動報告書



NPO法人つるがしま里山サポートクラブ

1. 2015年度実績報告

	申請内容(申請書P. 4・5)	実績
活動内容	<p>1 市民の森整備活動では、切り株除去を進め、子ども達が安全に遊べる環境を作る。</p> <p>2 市民の森整備活動では、伐採した竹残材、樹木の枝葉をウッドチップパーで粉砕することにより森に積み上げないことで、スッキリした竹林・樹林地になる。 ※ 孟宗竹の枝葉は、近隣のこども動物園が引き取りレッサーパンダの餌になっている。 ※ 発生したチップ材は、近隣有機栽培農家に引き取られ、有機肥料の基材として利用。</p> <p>3 ウッドチップパーで処理出来ない樹木の幹部は、製材して有効利用する。</p> <p>4 こうして整備された樹林地は林床が平坦となり、下草刈り作業にハンマーナイフモアを活用することで、作業効率を格段に向上させる。</p> <p>5 2015年度は、明るく整備された市民の森と清らかな自然河川を会場に、子育て団体などと協力して「森のプレーパークイベント」を6回開催する。</p> <p>6 森のプレーパークイベントの中で、ツリーング(ロープ木登り)イベントを3回開催する。 ※ ツリーングイベントは、経費が大きい他組織I助成金で開催する。</p> <p>7 竹林と竹林の竹を使った竹細工イベント(タケノコ掘り、竹あかり教室、そうめん流し、門松作り教室)を、東公民館及び地域支え合い協議会と協力して開催する。</p> <p>8 地域の大人に里山整備活動に対する興味を向けてもらうため、整備活動の中で、ボランティア体験や里山整備体験ができることをアピールする。</p> <p>9 木工活動では、まず木工場の整備を済ませた後、間伐材を製材し、ベンチとテーブルを作成し、市民の森に設置する。</p> <p>10 木工活動の展開として、木工教室を開催し、一般の方に木工</p>	<p>1 切り株除去作業は順調に進んでいる。子どもが走り回れる環境ができつつある。</p> <p>2 伐採作業の残材はウッドチップパーにより粉砕されている。竹お残材は、動物園の餌などに利用されている。</p> <p>3 太い樹木(ヒノキなど)は、一部製材機で加工し、ベンチを作っている。</p> <p>4 活動地(高倉・藤金)では、下草刈り作業は、ハンマーナイフ利用が定番となっている。</p> <p>5 プレーパークイベントは5回実施</p> <p>6 ツリーングイベントは5回実施</p> <p>7 タケノコ掘り、竹あかり、そうめん流し、門松教室は。計画どおり実施した。</p> <p>8 整備活動に一般の方の参加をなく、今後の課題となった。</p> <p>9 木工場の整備が済み、間伐したヒノキの製材作業を行い、作成した丸太ベンチを市民の森に設置した。</p> <p>10 木工教室をすところまでは、活動が進まなかった。16年度に行うことを検討する。</p>
地域に還元できる具体的な成果	<p>1 活動地の整備活動により、地域の大人に親しまれる樹林地が維持される。</p> <p>2 市民の森が市民の憩いの場として認知され、子ども達の歓声があふれる。</p> <p>3 市民の森を、子ども達の健全育成を目的として各種団体が利用する。</p> <p>4 多くの市民が里山環境に触れ、里山環境の有用性、大切さを実感する。</p> <p>5 里山環境の核となる樹林地と自然河川の減少傾向に歯止めがかかる。</p> <p>6 残材を残さない竹林整備が認知され、荒廃した竹林の整備が進む。</p> <p>7 地域の木材・竹材資源が有効に利用され、樹林地の価値が見直される。</p> <p>8 市民の森にベンチ・テーブルを設置し、より憩いの場として認知される。</p>	<p>1 特に竹林整備が地域に貢献した</p> <p>2 多くの子ども達がイベントに参加した。</p> <p>3 地域支え合い協議会がイベント実施</p> <p>4 一部の市民に認識されるようになった。</p> <p>5 現実は開発事業にまけています。</p> <p>6 竹林整備は順調</p> <p>7 竹については、利用により価値上昇</p> <p>8 16年度に五味ヶ谷・高倉市民の森に設置する。</p>
活動告知・広報	<p>○ プレーパークなど子ども対象イベントは、すべて市内小学校・幼稚園に 募集チラシ配布</p> <p>○ 公民館等公共施設にポスター展示と チラシ配布</p> <p>○ ホームページ及び地域SNSで広報活動</p>	<p>○ 市内小学校・幼稚園・保育園にチラシ、ポスターを配布した。</p> <p>○ 市民センター(旧公民館)にチラシ・ポスターを配布した。</p> <p>○ 地域SNSにて、イベント情報W/Oお発信した。</p>

2. 2014年度申請事業の月別実施報告

*スタッフ数は、参加者数には含まないでください。

実施	実施内容	スタッフ数	参加者数	
			会員	一般参加
2015 年 4月	4日 東公民館まつり参加 バンブーパンと竹細工		10	50
	11日 木工場整備		7	1
	25日 五味ヶ谷市民の森 竹林整備	5	7	
	29日 高倉市民の森 川と森のゴミ拾い	人	9 人	人
5月	5日 五味ヶ谷市民の森 たけのこ掘りと試食イベント	7		65
	24日 藤金市民の森整備	人	7 人	人
6月	1日 藤金市民の森 プレーパーク	10	7	300
	6日 高倉市民の森整備		5	
	13日 五味ヶ谷市民の森整備		8	2
	21日 竹あかり教室とキャンドルナイト	3	11	40
7月	4日 五味ヶ谷市民の森 そうめん流し	18	11	70
	18日 高倉市民の森 草刈作業		4	
	26日 藤金市民の森 草刈り作業		4	7
	28日 藤金市民の森 自然観察会	14 人	6 人	45 人
8月	1日 簡易製材機お披露目と藤金市民の森整備		8	
	8日 五味ヶ谷市民の森 整備		8	2
	22日 高倉市民の森 整備		6	1
	29日 木工作业	人	4 人	人
9月	5日 藤金市民の森プレーパーク	12	9	150
	12日 木工作业		4	
	19日 五味ヶ谷市民の森整備		6	
	27日 藤金市民の森整備	人	8 人	人
10月	10日 木工作业		8	
	24日 五味ヶ谷市民の森 整備		7	
11月	7日 五味ヶ谷市民の森プレーパーク	15	7	150
	22日 藤金市民の森 整備		8	
	28日 木工作业	人	5 人	人
12月	6日 五味ヶ谷市民の森 竹林整備門松材料作り		8	3
	20日 高倉門松教室		7	30
	23日 大型門松組たて		10	2
	26日 五味ヶ谷門松教室		9	60
	27日 坂戸門松教室	人	6 人	40 人
2016 年 1月	6日 高倉市民野の森 枯れ木伐採と清掃活動		9	
	9日 高倉市民の森 プレーパーク	13	7	150
	16日 五味ヶ谷市民の森 整備		8	
	24日 藤金市民の森 整備	人	2 人	58 人
2月	6日 五味ヶ谷市民の森整備		8	
	20日 高倉市民の森整備	人	7 人	人
3月	5日 五味ヶ谷市民の森 プレーパーク	20	10	300
	27日 藤金市民の森 ゴミ拾い	人	9 人	人
合計		117	284	1526

3. 活動の広がり・他環境NPO活動への影響・助成金の活用効果

活動の広がり

- 子どもの遊べる平地林整備を拡大し、プレーパーク開催地を2箇所(藤金市民の森、五味ヶ谷市民の森)から3箇所(高倉市民の森追加)に拡大できた。
- プレーパークまつり(森のプレーパーク)を2014年度4回から、2015年度は5回開催した。
- 竹林整備から発生する竹の利用では、竹あかりや門松づくりが、好評でした。
門松教室は、今まで東公民館のみで行っていましたが、高倉と坂戸の団体から依頼があり3箇所で行った。
- ウッドチップパーを使った残材を残さない竹林整備も、地域で認知されてきており、2015年度には坂戸市のNPOより依頼があり3回貸し出している。

他の環境活動NPOへの影響

- 同じ市内に事務所をおく荒川流域ネットワークとは、友好関係にあり、私たちの水辺イベントでは専門知識を提供してもらっている。逆に荒川流域ネットワーク主催のイベントでは、我々が会場の草刈りを担当したり、軽トラを使った荷物運搬に協力しており、お互いの技術・知識・設備を有効に利用している。
- 2014年に隣の坂戸市に森林保全NPOが発足し、作業や設備、運用などいろいろな面でアドバイスを求められている。15年度は、檜林整備の残材処理のため、ウッドチップパーを貸し出している。

助成金の活用効果

- エンジン式移動製材機は、間伐材を板に加工するために導入した。
昨年度調達した檜の間伐材の皮をむき2面を平に切る作業を製材機で行った。
いままで、ただの丸太だったベンチが平らな面に座れるようになり、利便性が上がった。
今季は製材機として十分な使い方をしていないが、来季は本格的に板材作りに取り組む。
- ブレードセット、ローディングシステム、ログローリングパッケージは、上記製材機の備品であり製材作業の簡易化、安全化に寄与している。
- キッズハーネスは、プレーパークで、高所のロープ渡りの際、装着し、安全確保に寄与している。また、ジップラインでもキッズハーネスをつけて行うイベントであり、必需品となっている。
- キッズヘルメットは、森で行ういろいろなイベントで利用している。
今年度購入品は、従来から保有している子ども専用ヘルメットが小さすぎて入らない子どものために、大人サイズを購入したものである。ジップラインで使う予定だったが、子ども用の小サイズで済んでしまったため、今年度は使用しなかった。
来季以降の各種イベントで、頭の大きな子どものために役立つ物である。
- ガソリンは、軽トラでの移動、チェーンソーやハンマーナイフやウッドチップパーなどの作業工具、木工作業の発電機などに欠かせないものである。
- 森のプレーパークチラシ・ポスターは、市内全小学校、幼稚園、保育園に配布され、子供の参加者確保に役立っている。

4. 2015年度活動状況(1)

活動状況がわかる写真	写真の説明
	<p>藤金市民の森 整備活動</p> <p>5月から3月に実施</p> <p>林床の切り株除去作業を徹底したことにより、下草刈り作業は、ハンマーナイフモアを使用して効率よく草刈り作業ができるようになった。</p>
	<p>藤金市民の森 森のプレーパーク</p> <p>6月、9月、に開催 子ども達が自由に遊びまわる空間ができた。</p> <p>樹上綱渡り キッズハーネスを使用</p>
	<p>藤金市民の森 ボランティア体験会</p> <p>7月に実施中学生</p>

4. 2015年度活動状況(2)

活動状況がわかる写真	写真の説明
	<p>五味ヶ谷市民の森 竹林部整備</p> <p>11月から4月 竹の伐採と、有効利用 残材はウッドチップパーで 粉碎</p>
	<p>五味ヶ谷市民の森</p> <p>4月、5月</p> <p>たけのご掘り体験会と 竹細工体験</p>
	<p>五味ヶ谷市民の森</p> <p>6月</p> <p>竹あかりづくりと キャンドルナイト</p>

4. 2015年度活動状況(3)

活動状況がわかる写真	写真の説明
	<p>五味ヶ谷市民の森</p> <p>11月と3月</p> <p>森のプレーパーク開催</p> <p>昨年と異なり晴天に恵まれ多くの子供たちが楽しんだ。</p>
	<p>高倉市民の森</p> <p>散策路と外来種の草刈り</p> <p>4月から11月</p> <p>散策路は、平地のためハンマーナイフモアを走らせて終了</p> <p>外来種(オオブタクサ)の刈り取りでもハンマーナイフモアで作業できた。</p>
	<p>高倉市民の森</p> <p>散策路の橋整備</p> <p>4月から6月</p> <p>蛍のとぶシーズンの前に散策路の整備を行なった。</p> <p>上下流の2本の橋が老朽化し、毎年メンテを行っている。</p>

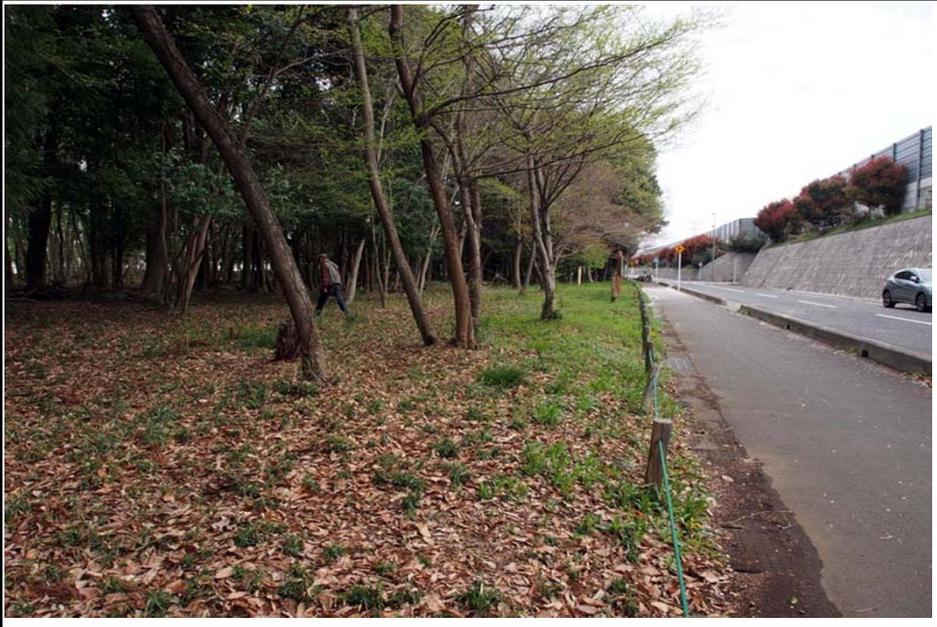
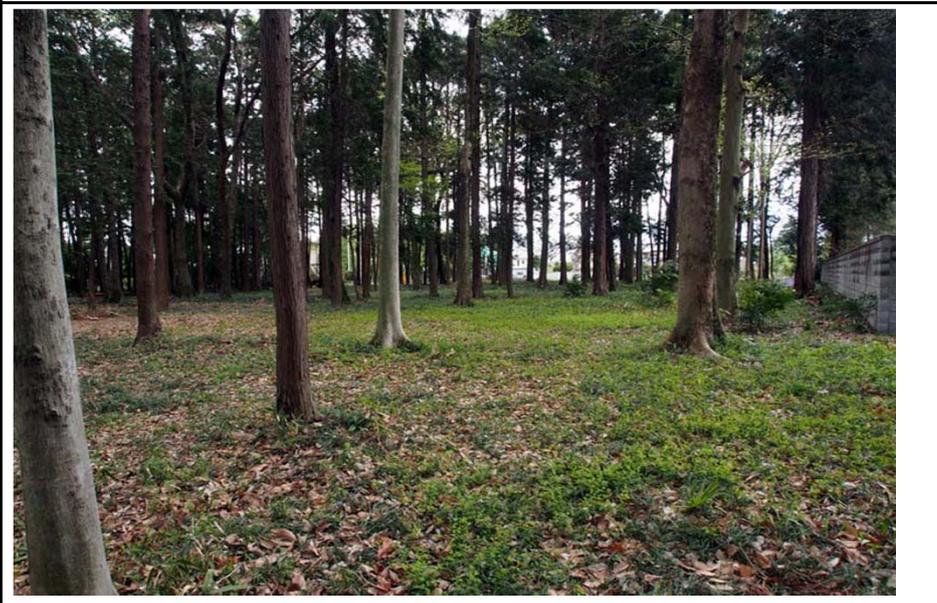
4. 2015年度活動状況(3)

活動状況がわかる写真	写真の説明
	<p>高倉市民の森</p> <p>1月 森のプレーパーク開催 高倉市民の森初のプレーパークを実施 高倉地域をはじめ、市内から多くの子供たちが参加した。</p>
	<p>木工作业</p> <p>今年度から移動式製材機を導入し、間伐材丸太を板材に加工できるようになった。</p>
	<p>木工作业</p> <p>製材機により平面化された丸太を使いベンチを作った。</p>

4. 2015年度活動状況(4)

活動状況がわかる写真	写真の説明
	<p>そうめん流しイベント 7月</p> <p>五味ヶ谷市民の森の竹材有効利用としてそうめん流しと竹細工を行った。 参加者各自が竹のお椀を作り、そこにだし汁をいれて食べるそうめんは、一味違うと好評であった。</p>
	<p>門松作り 12月</p> <p>五味ヶ谷市民の森の竹材を有効利用するため、毎年門松作りを行っている。 今年は大門松を市役所と若葉駅前市民活動推進センターに飾るために作成した。 小さな門松は、自分たちで楽しむために作った。</p>
	<p>門松作り教室 12月</p> <p>年末恒例の門松作り教室を開催した。 今年、高倉の農業交流センター、東市民センター、坂戸のNPOと3箇所から依頼があり、対応した。</p>

5. 2015年度成果物(1)

成果物がわかる写真	写真の説明
	<p>藤金市民の森 草刈り後の外周道路接触部</p> <p>日当たりの良い外周部は、すぐに草が育つ。道路際はポイ捨て・不法投棄を誘発するため、定期的の下草刈りをする必要がある。</p> <p>ハンマーナイフモアで草刈りすると、刈った草を粉砕するため、残材処理もいらない。</p>
	<p>藤金市民の森 整備後の雑木林部</p> <p>プレーパーク会場となる雑木林部は、篠竹を刈り、伐採した切り株を除去し、子どもたちが、安心して遊べる環境を作る。</p> <p>伐採した樹木も、10cm以内の枝葉は、ウッドチップパーで粉砕し、残材を残さないようにしている。</p> <p>太い丸太部は、薪やほだ木にする他、木工場に運び板にして有効利用する。</p>
	<p>五味ヶ谷市民の森 下草刈り後の雑木林・ヒノキ林部</p> <p>しっかり下草刈りし、プレーパーク会場となった。</p> <p>2015年度は、ハンマーナイフモアを導入し、効率的な草刈りができるようになった。</p>

5. 2014年度成果物(2)

成果物がわかる写真	写真の説明
	<p>五味ヶ谷市民の森 すっきり整備された竹林部</p> <p>竹林部も伐採した竹を竹林に残さない整備作業を行っている。</p> <p>伐採した竹は、できるだけ有効利用を図る。 孟宗竹の枝葉は、近隣動物園にて引き取り、レッサーパンダの餌となる。 他の竹残材は、ウッドチップパーで粉碎し、有機農家で肥料の材料となっている。</p>
	<p>高倉市民の森 整備された散策路と広場</p> <p>来場者が気持ち良く散策できるように、散策路と広場を定期的に草刈りしている。 ここでもハンマーナイフモアが効率良い草刈りを実現し、少人数・短時間の作業ができています。</p>
	<p>高倉市民の森 清流を保つ飯盛川</p> <p>定期的に川のゴミ拾いを行い川を歩くことで、ヘドロの堆積もふせいでいる。 蛍の生息する森を維持している。</p>

6. 2015年度購入物(1)

購入物がわかる写真	写真の説明
	<p>○ エンジン式移動製材機</p> <p>間伐材を板材に加工する機械 板材にすることで、テーブルなど 多様な用途に間伐材を使える ようになる。</p>
	<p>○ 32mm幅ブレードセット</p> <p>製材機のブレード(替刃)</p>
	<p>○ クイックドッキング&ローディングシステム</p> <p>製材機に載せた丸太を簡単に回す機械 製材機の備品として購入</p>

6. 2014年度購入物(2)

購入物がわかる写真	写真の説明
	<p>○ ログローリング パッケージ</p> <p>丸太を持ち上げて、 製材機に乗せる機械</p> <p>製材機の備品として 購入</p>
	<p>○ キッズハーネス</p> <p>子ども用ハーネス 木登りや綱渡りなど 高所での遊びの際、 ハーネスとロープで安 全を確保する。</p> <p>○ キッズヘルメット</p> <p>子供達を森で遊ばせ る際、安全管理のため、 つけさせるヘル メット</p>
	<p>○ 軽トラ</p> <p>3年リースの2年目 4駆のため、活動地 の奥まで機材を運べ る。 里山整備活動になく てはならない物であ る。 雪でも森に入れる。</p>